

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
14	小中学校教室内扇風機更新事業		小中学校の教室においては、窓を開けて自然換気を行っておりますが、扇風機を活用することによって換気効率を向上させることが可能となります。現在、教室内にある扇風機は羽根の破損や老朽化により使用できない状態のため、天井取付型の扇風機の交換更新工事を実施し、効率的な換気による新型コロナウイルス感染症対策を行う。				
	事業開始	事業終期					
	R4.5	R4.10					
実施事業名・担当課			総事業費	交付金対象経費	補助・単独	補助対象事業費	備考
小中学校教室内扇風機更新事業		教育委員会事務局 総務学校係	14,850,000	14,850,000	単独	-	
合計			14,850,000	14,850,000			単位(円)
事業の実績	<p>夏休み期間中を使って天井取付型の扇風機の交換更新工事を実施したことにより、2学期から教室における換気効率を向上させ新型コロナウイルス感染症対策に一定の効果を発揮することができた。</p> <p>(東小学校：交換更新59基・新設：16基、西小学校：交換更新80基・新設10基、板倉中学校：交換更新120基、新設4基)</p>						
事業の効果	<p>年間を通して扇風機を活用した換気をすることにより、授業をはじめとした学校活動がより安全に実施することができるため、児童生徒と教職員に対して安心感を与えると同時に新型コロナウイルス感染症対策として効果的だった。</p>						

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
15	板倉中学校体育館エアコン整備事業		新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、板倉中学校体育館にエアコンを整備し、空気を循環させ、効率的な機械換気を実現することにより新型コロナウイルス感染症対策を行う。				
	事業開始	事業終期					
	R4.4	R5.1					
実施事業名・担当課			総事業費	交付金対象経費	補助・単独	補助対象事業費	備考
板倉中学校体育館エアコン整備事業		教育委員会事務局 総務学校係	33,990,000	33,990,000	単独	-	
合計			33,990,000	33,990,000			単位(円)
事業の実績	1階アリーナ部分に天吊型エアコンを10基、2階スペースに天吊型エアコンを2基、合計12基の機器を導入したことにより、体育館の効率的な機械換気を実現することができた。						
事業の効果	年間を通して空調設備を使用することにより強制的に空気を循環させる事が可能になったため、新型コロナウイルス感染症対策に効果的だった。						

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
16	板倉町立小中学校非接触体温測定器導入事業		新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、来校者用玄関に非接触体温測定器を導入することにより、適切な体温の管理を実施し、新型コロナウイルス感染症対策を行う。				
	事業開始	事業終期					
	R4.7	R5.2					
実施事業名・担当課			総事業費	交付金対象経費	補助・単独	補助対象事業費	備考
板倉町立小中学校非接触体温測定器導入事業		教育委員会事務局 総務学校係	435,600	435,600	単独	-	
合計			435,600	435,600			単位 (円)
事業の実績	町内小中学校3校×1基（各校の来校者用玄関に1基ずつ設置）						
事業の効果	非接触体温測定器を導入したことにより、適切な体温管理を実施することができ、感染予防に効果が発揮できた。						

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
17	板倉町立小中学校学校給食物価高騰対策事業		新型コロナウイルス感染症に伴う原油価格・物価高騰による学校給食への影響を鑑み、食材の高騰率を10%程度と見込み、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、給食メニューの栄養価維持と給食提供サービスの維持を目的とする。				
	事業開始	事業終期					
	R4.7	R5.3					
実施事業名・担当課			総事業費	交付金対象経費	補助・単独	補助対象事業費	備考
板倉町立小中学校学校給食物価高騰対策事業		教育委員会事務局 総務学校係	4,727,929	3,775,997	単独	-	
合計			4,727,929	3,775,997			単位(円)
事業の実績	交付金を活用することで、物価高騰により当初予算だけでは賄いきれなかった食材購入に係る費用を捻出することができ、給食の質と量を維持することができた。 【物価高騰分の支出】 東小：1,732,744円、西小：1,290,264円、板中：1,704,951円						
事業の効果	交付金を活用することで、給食の質と量を維持することができ、児童生徒へ栄養価を維持した給食メニューを提供できた。また、給食費無料化を継続でき、子育て世帯の負担軽減を図ることができた。						

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的					
18	公民館施設網戸設置事業		新型コロナウイルス感染症対策として、地域交流の拠点及び避難所施設となる町内の公民館施設に網戸を設置し、窓を開けて換気を行うことで新型コロナウイルス感染症対策を行う。					
	事業開始	事業終期						
	R4.7	R5.3						
実施事業名・担当課			総事業費	交付金対象経費	補助・単独	補助対象事業費	備考	
公民館施設網戸設置事業			教育委員会事務局 各公民館	1,250,000	1,250,000	単独	-	
合計				1,250,000	1,250,000			単位 (円)
事業の実績	網戸設置数量 88 枚 (内訳：東部公民館 6、中央公民館 36、北部公民館 23、南部公民館 23)							
事業の効果	新型コロナウイルス感染症対策として、町内 4 つの公民館施設に合計 88 枚の網戸を設置。網戸を設置したことで新鮮な空気を取り込む自然換気ができようになり、新型コロナウイルス感染症の予防効果が高められ、さらに害虫の侵入を防ぐことができた。							